

## 平成28年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立洛友中学校 )

## 1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 自校の取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	・各教科における言語活動の充実(発問を工夫し発表の機会を増し、発表の際には結論と理由を述べさせる) ・年3回の授業研究	・生徒の話す・聞くなどの態度の変容 ・授業中に発表する機会が増え、根拠を述べて自分の考えを発表できたか
	家庭学習の習慣化	・学校だよりや学級通信などによる啓発活動 ・グレクティ教材の有効活用	・家庭で平日に、平均どれくらい学習していますか
	書く力の育成	・国語の授業や交流の時間などで、作文・日記・詩・俳句、漢字の読み書きなどの課題を設定	・課題の作文・日記・詩・俳句の内容の変容、また、漢字の読み書きプリント達成度
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	・道徳の時間や学級活動などで、話し合いや協力の場を、意図的・計画的につくる ・登下校時に校門で挨拶運動を実施(夜間部の下校時は全教職員で実施)	・友達や家族を大切にしていますか ・挨拶時の会話や表情から、充実した学校生活を送っているか
	人権の大切さを考える活動	・人権標語入りカレンダーの作成と地域への配布	・人権の大切さを表現しているか ・地域に役立っていると感じているか
健やかな体	自他を大切にしている態度の育成	・常に寄り添いながら、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立に向けての働きかけ	・早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活はできていますか
	健康観察の励行	・毎日、養護教諭と担任が連携して、健康観察の実施	・心身両面における変化の把握
独自の項目	昼・夜間部の交流の時間の充実	・昼・夜間部合同の小グループをつくり、貼り絵・花文字・栽培活動などの実施	・昼・夜間部の交流により、昼間部生徒は学びのエネルギー、夜間部生徒はアイデンティティーの、向上に結びついているか

・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年10月4日
	評価者・組織	校長・運営委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
「先生の問いかけに発表する機会が増えた」生徒の割合は、昼間部58%, 夜間部69%であった。	「先生は教材や教え方を工夫している」は昼・夜間部共に100%であったが、発表する機会はまだ改善の余地がある。昼間部は生徒の特性を考慮する。	昼間部では、気兼ねなく発表できる仲間づくりと発表のスキルを支援していく。夜間部は発問の意味を理解しやすいように工夫する。
「家庭学習をしている」昼間部生徒は50%, 保護者は36%であった。夜間部はこの項目がない。	個々の生徒が学習空白という課題を抱えており、家庭学習は半数ができていない。生徒と保護者の結果に違いもある。	課題を乗り越え、家庭学習に取り組んでいる生徒もいることをうまく伝え、学習意欲を高めたい。グレクティの有効活用も推進する。
「交流の時間」漢字の読み書きについては、日々のプリントのファイリング数が約80枚(実施日数×2)となった。	漢字の学習は日々着実に取り組み、成果を上げている。作文・日記などは限られた時期に行われており、継続性に欠ける。	国語だけでなく、各教科・領域で自分の考えや思いを書く学習活動を計画的に増やす。
「道徳の時間は自分のためになっている」生徒の割合は、昼間部58%, 夜間部88%であった。	夜間部は自作教材を用いて、道徳の時間に取り組んでいることが、アンケート結果につながっている。昼間部はこれからという現状である。	夜間部は、現在取り組んでいる道徳の時間をさらに深化させる。昼間部も、時間を捻出しながら、それを踏まえた上で取り組み、実践する。
「学校の雰囲気がよく安心して通える」生徒の割合は、昼間部75%, 夜間部83%であった。人権標語入りカレンダー作りはこれから実施。	昼・夜間部共に、お互いの生き方や価値観の違いを認め合い、尊重し合うことができる程度できている。	教育活動のあらゆる場面で、人権の大切を念頭に置いた働きかけを今後も実践する。人権標語入りカレンダー作りは11月から実施する。
「規則正しい生活を送っている」生徒の割合は、昼間部42%, 夜間部73%であった。	昼間部は、寝るのも起きるのも遅い生徒がいることがわかる。夜間部はある程度規則正しい生活が送れているが、改善の余地はある。	昨年度、医学的根拠に基づいて規則正しい生活が脳や体の成長に良いことを学習したので、それをねばり強く伝えていく。
「先生は親身になって相談にのってくれる」生徒の割合は、昼間部が91%, 夜間部が100%であった。	登校時、養護教諭と担任が連携して、健康観察を行い、心身の両面の変化に気づき、適切な対処をしていることがわかる。	今後も、養護教諭と担任が連携して、見逃さない健康観察と、心の通った適切な対応を徹底していく。
「交流の時間」の学習内容(貼り絵など)は楽しい」生徒の割合は、昼間部83%, 夜間部88%であった。	昼・夜間部の交流の時間が、生徒にとって楽しみになっていることがわかる。	多文化共生学習など、昼・夜間部合同の小グループで取り組める教育活動を、今後も計画的に実施していく。

学校関係者評価	
評価日	平成28年10月20日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
昼間部・夜間部共に、様々な事情があるが、教材や教え方を工夫している。改善策に示された取組を推進してほしい。	地域には様々な分野のエキスパートがいるので、依頼があれば授業に役立つ協力をしたい。
学校へ通えなかった生徒たちが楽しそうに通っていることを評価したい。夜間部生徒の姿から学びの楽しさを感じとり、家庭学習につなげてほしい。	日々の先生方の心の通った指導を評価している。主体的に家庭学習に取り組む意欲がもてるように、先生方に協力したい。
各教科・領域で自分の考えや思いを書くことは、昼間部・夜間部共に大切な学習活動であると思うので、推進してほしい。	心に響く作文や詩があれば、学校だよりなどに載せてほしい。それを地域の方々に配布し、生徒の自尊感情の高揚に役立ちたい。
より良い生き方につながる道徳の時間を大切にしてほしい。昼間部の事情もわかるが、それを踏まえた上で取り組んでほしい。	美化活動や植物を育てる活動などを通して、道徳的心情や実践意欲を養うことに協力したい。
すべての教育活動において、人権を大切にしたい働きかけを行っていることを素晴らしいと思う。人権標語入りカレンダーの配布を楽しんでいる。	地域との関わりの中でも、人権の大切さを伝えていきたい。人権標語入りカレンダーの配布をお手伝いする。
保護者にも規則正しい生活が脳や体の成長に良いことを伝え、協力して取り組んでもらいたい。	保護者への支援などで協力できることがあれば、連絡をいただきたい。
昼間部・夜間部共に、心身に課題のある生徒が在籍している中、このアンケート結果は素晴らしい。今後もその姿勢を継続してほしい。	健康観察の励行の大切さがよくわかる。校医や関係機関との連携において、支援が必要な場合は協力していく。
御校のコンセプトである世代や国籍を超えてふれあい学び合っている様子が伝わってくる。今後も意義ある交流を推進してほしい。	多文化共生学習などを通して、多様性の大切さを発信していることを、地域に適切に伝えたい。

平成28年度 学校評価実施報告書

2 2回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・ 各種指標
確かな学力			
豊かな心			
健やかな体			
独自の項目			



・アンケート実施結果、 その他指標の結果に ついて整理	自己評価	
	評価日	
	評価者・組織	
アンケート結果・ 各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策



学校名( )

学校関係者評価	
評価日	
評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援策

3 総括・次年度の課題